

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 静岡県立沼津商業高等学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒543人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (オリンピック・パラリンピック教育講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピアンに接し、直接話を聞くことにより、オリンピック・パラリンピックについての理解を深めるとともに、共生社会の実現に向けた基本的な考え方を身につける。
5 取組内容	<p>車いすラグビー日本代表の若山英史選手を講師に招いて、講演会を実施した。</p> <p>事前には、代表生徒3人の作成の広報ポスターを教室に掲示し、講演者や車いすバスケットボールについてのインターネットによる事前学習を呼びかけた。</p> <p>講演では車いすラグビーの説明や、若山選手が高校生に伝えたいこと、東京パラリンピック大会の選手村での生活など、映像を用いて、興味深い話を聞いた。質問コーナーでは5人の生徒が積極的に質問し、理解を深めた。講演後、会場にいる3年生全員及び、代表生徒が銅メダルを首にかけて一緒に記念写真を撮り、貴重な思い出となった。新型コロナ対策で、1、2年生はZoomを用いた教室での視聴となったが、昨年度は3年生だけで実施したことに比べると、少し前進した。</p>
6 主な成果	<p>講演を聞いて、生徒は、自分の人生をこれからどう生きていくかを自分で考えることを学んだと思う。また、前向きな気持ちになったと感じた。</p> <p>(アンケートは実施しなかった。)</p>

7実践において工夫した点 (事業の特色)	新型コロナな対策として、3年生は体育館で、1、2年生はZoomを用いて各教室で視聴した。
8主な課題等	Zoomを用いて配信する技術が不十分で改善が必要である。
9来年度以降の 実施予定	未定